

広報 肱川

主な目次

- 集音マイク総集編……………2～3ページ
- 小雨のなか消防出初式……………4ページ
- 7分28秒に1件の割合で発生……………4ページ
- 肱川町で農林研修日……………5ページ
- 広がる覚せい剤汚染……………5ページ
- お知らせ……………6ページ



大洲消防署川上支署開庁以来
四ヵ月、救急出動27件。

国道整備により車の往来はふ
え、大規模事故の危険性も増大
車にとじ込められた人の救出要
請も無しとせず！

(写真 閉じこめられた負傷者
を救出する川上支所署員・消防
出初式演技)

2月号

総額二億円の大事業 中央簡易水道が完成

「集音マイク」より

昭和54年

変革の時代といわれた一九七〇年代の締めくくりの年、五四年は、当町にとってどんな年であつただろう。

前月中のできごとを載せてきた「集音マイク」から主なものをひろつてみました。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

○選挙の年

年明け早々県知事選挙。出足わるく、投票率は七七・九％。

(1/2投票)

県議会議員選挙は無投票。

(3/28立候補ノ切)

肱川町議会議員選挙は少数激戦。近年にない盛り上りをみせ



開票を見まもる参観者(町議選)

九六・四三％の高投票率。新人五人を含む新しい議員が誕生。(4/6告示、4/2投票)

そして、八〇年代の政治路線を選ぶといわれた第三回総選挙。低調ムードのなか、当町の九一・二三％の投票率は県下六位。(9/衆議院議員選挙)

○大切な学校と家庭のつながり

「父兄は、学校は、子供はいまなにをしようとしているのか。」PTA活動とは、「学校と家庭がもっと真剣につながりを深めることが必要ではないか。」

「二五人が六分科会にわかれて研修。(2/町P連研修会)」

○四月一日から幼稚園を設置

「三つ子の魂、百まで。」

「就学前の幼児教育をどう行うか」幼稚園開設を控えて、町内の教員三〇人が集い研修。(2/幼児教育研修会「役場で」)

「肱川中学校卒業生七七人のうち九一％が進学、九％が就職。地方志向の一向といわれる

が、さて何人が肱川町の担い手に……。 (3/肱中卒業式)

○水道施設の整備

「あの豊富な水を飲料に！」地区町民の願いがなつて、中央地区簡易水道施設が完成。町内家庭の半数に給水。

永年、水不足に悩まされてきた森地区にも簡易水道を設置。(3/合同で落成式)

○老人のよりどころ 創作館でできる

楽しい創作活動を通じて、「生きがい」を求め、高齢者の「相互交流」を深め、「健康づくり」のための軽運動もできる高齢者創作館が完成。(3/創作館落成式)

○行楽地は町内にも

町内随一の名滝、大谷とどろ滝に一周できる遊歩道、橋が完成。あわせて竜王神社も新築。うずもれていた名勝を深勝してみませんか。(4/落成式)

「わあ、きれいな！」丸山公園の谷に咲きほころしやくなげ二千本。その名も「しやくなげ」。

見れば見るほど気品ただよその美しさに訪れる客はただうっとり……。 (4/しやくなげまつり)

○肱川でインターハイ

「四国路を駆けろ若人、意気と熱」

全国から千余人の選手が鹿野川湖へ。今年八月に行われる全国高校総体漕艇競技受け入れのため、肱川町実行委員会を結成。(5/準備委員会を改名)

大洲市、喜多郡の高校生と肱川中学生からポスターを募集。当町の岡山君(大洲高校肱川分校)が最優秀賞に入選。(8/55総体漕艇ポスター審査会)

○中居喜代光氏に叙勲

「二七年の消防生活、卓越した指揮能力、今日の肱川消防の基礎を築いたあなたは真の消防人です。叙勲おめでとう」



前団長から祝辞を受取る中居夫妻(祝賀会)

数々の祝辞を受け、豪快な氏もいささか感慨深い面もちでした。

中居喜代光氏勲六等単光旭日章受章。当町で八人目の叙勲。(5/受章祝賀会—公民館—)

○県営林道着工

待望の鹿野川、惣川を結ぶ県営林道。

肱川、河辺、野村三カ町村住民の熱意と関係機関団体等の努力が実り、県営林道肱川—野村線着工。(7/起工式)

○交通安全はみんなの願い

お巡りさんの誘導に驚いた様子のドライバーも、婦人部のお茶のサービスにニコッ。

夏の暑い昼下がり、とかく居眠り運転などで事故が起きやすいとき、交通安全屋の開設。暑い盛りにご苦勞様。(7/安協婦人部高砂で)

そして、秋まつりシーズン前にも店開き。

「一杯と交換できるかこの命」青年団は自作の注意板を町内各所に。交通安全屋では折りヅルも。

「交通安全はみんなの願い」中野小児童は鼓笛パレード。(9/10秋の全国交通安全運動)

○試験場落成

「何の試験場じやろ。」「肱川流域のしいたけ栽培を試験研究するところじやそうな」しいたけ農家へ福音。

梢木の効率利用により原木不足解消を祈る。(%)肱川測点試験場落成式)

○入浴乾燥車の奉仕始まる

「おじいちゃん、これ小藪温泉の湯じゃけんない」。「愛は地球を救う」キャンペーンにより贈られた入浴乾燥車が奉仕作業開始。遠慮なく申込み、これを活用したいもの。(%)中野部落へ初奉仕)

○第五分団県大会へ

「肱川消防」の心意気を発揮、当町第五分団(予子林)が、小型ポンプの部で初優勝。今夏の県大会へ。選手団員のご健闘に声援を送ろう。(%)県消防操法大洲喜多地区大会)

○老齡化社会到来

当町の老人(六五才以上)は、昭和三五年には総人口に対して八・四%(五四二人)であったが、四五年には一・五五%(五七二人)となり、五四年には一・五七%(六三八人)と着実に増加。全国では、五五年に八・九%、二〇年後には一四・三%と推計されている。

当町では、すでに老齡化社会到来と言える。

「四〇、五〇は花ならつばみ七〇、八〇は花ざかり…」「自分らで長寿を祝おう」と老



しめ飾りを作る老人達(創作館)

人クラブ主催で祝賀会、公民館や婦人会等主催の敬老会を各地区で開催。(%)敬老の日)

○消防署でできる

大洲市、喜多郡は一つ、常備消防を設置。生活様式が多様化するなか、火事と救急は一九番。そして大切な予防消防活動に期待。(%)大洲消防署川上支所開所式)

○「正山分館」

四連覇ならず
正山分館の四連覇を僅差で制し予子林分館が優勝。(%)町民運動会)

○肱中で

県老人スポーツ大会
大洲市、喜多郡の一市五カ町村老人、そして婦人会、青年団が応援。

まさに三代による大運動会。なごやかに楽しく、そして盛会。関係者は「県下の見本」と舌をまくほど。(%)県老人スポーツ大会)

○郷土の思い出に

文楽鑑賞

「郷土の古典芸能を想い出に」やがて郷土を巣立つ中学生全員が大谷文楽を鑑賞。とくに後継者?小、中学生が操る「傾城阿波の鳴門」の熱演に大きな拍手。地域に根ざす情操教育の一コマ。(%)肱中体育館で)

○新献立に弱い肱川つ子

当町の学校給食は昭和三七年開始。正しく、楽しい食習慣、マナー、好ましい人間関係の育成と心身の健全な発達がねらい。県下の関係者百余人が参集して、学校給食指定校研究発表会「学校給食の好ましいあり方への試み」をテーマに、八カ月の研究成果を発表。「肱中の生徒は洋食に接する機会が少ないため、給食の新献立に弱い……」とか。(%)肱川中学校で)

○四組が合同金婚式

風雪をのりこえて、結婚五〇年間の仲睦い人生。昨年は四組は四組の御夫婦が祝福を受け、それぞれ思い出話を語り合いました。(%)合同金婚式—公民館—)

○乙亥祭をテレビ放映

当町を舞台に本格的テレビロケ。さすがの南牛史さんも「山また山」にビックリ。

今も残っている木炭生産と旧歴一〇月の最後の日の日に行われる鳥坂(とさか)の乙亥祭を紹介。(%)NHK「ここはお四国」ロケ)

○ヨーロッパ農業

を学ぶ

日本の農業は「経営規模は、他国の比でないが、技術は負けません」「農家の生活、考え方に大きな違い」。

ヨーロッパ八カ国を視察研修して、福山、寺岡両君が報告。

これからの農業経営を考える糧となることに期待。(%)海外研修報告会)



民宿にて(オーストリア・ノージデルムセイ)

集音マイク

○新春若人の集い
親につけてもらったようなこの集い、今年で三回目。

自分(若者)たちで主催する集いとするためにも、このあたりで底辺からの工夫がちとほしい。(%)

○中津、小倉地区の地番変更
これで全ての部落の地名が、大字名をのこしてアラビヤ数字となる。昔から語りつがれたあちこちの由緒ある懐かしい小字名は姿を消す。先人たちが自分の目、形、姿で名付けた美しくすばらしい、そしておそろしい小字。

将来あの「ツエヌケ」は大丈夫だろうか。

○先愛後楽

時代の流れと共に人間社会の暮らしは少しずつ変化して行く。

先に行く者、そしてその後について来る者。等しく暮らせる社会でありたい。むしろきびしい時期こそ前者は後者のために生きる道を開けてほしい。

ある日曜日、農業の年間平均所得五人家族で百万内外と書いた。

二月一日現在で世界農林業センサスはじまる。(%)説明会)

○農業指導者に対する目きびし農政、林政にたずさわるトップこそ自ら営農、営林の指導者であれ!

そのまた下にいる役職員こそ本物の指導者であれ!

八〇年代はとにかく深い霧の中にある。しかしその霧のむこうにわれわれ地方の時代のあることも確か。(%)大洲、喜多営農指導者研修大会)

小雨をついて

「肱川の消防人」根性を発揮

昭和五五年肱川町消防出初式が、二月一日肱川中学校において挙行されました。

当日は、朝から小雨が降り屋外での開催が危ぶまれましたが、団員の熱と意気により雨中で決行、

県知事代理を始め、一〇〇余名の来賓も寒さをこらえ、部隊訓練、

はしご操法、ポンプ操法等最後まで熱心に見守っておられました。

特に、衣服が雨が浸み、足もと

がぬかるむ中、身じろぎもしない消防精神旺盛な待機中の姿勢が皆の心に強く印象づけられた様です。

また、昨年発足の大洲消防署川上支署も初めて参加、車輛事故想定の救急作業はキビキビとしたプロの味を出し、出初式を一段と盛り上げさせてくれました。

なお、団員表彰の席上、昨年



伝統あるはしご操法



出初式をしめくくる一斉放水

第五分団 団員 二宮正登
大洲喜多消防団連合会長表彰
○規律章(一名)
第五分団 団員 森岡一男
○勤続章(二一名)
第一分団 班長 森本正吉

第一分団 班長 富永 徹
" " " 松本 憲
第三分団 " " " 水田重徳
第四分団 " " " 中岡政廣
第一分団 団員 片山政治

第二分団 団員 森本宗高
第三分団 " " " 寺中 勇
" " " 沖田利雄
第四分団 " " " 中野孝廣
" " " 西本資久

肱川町長表彰(五名)
第一分団 団員 周藤一徳
第二分団 " " " 和気昭夫
第三分団 " " " 上田武徳
第四分団 " " " 森 吉満
第五分団 " " " 石河是忠

7分28秒に一件の割合で発生

出火原因のトップはたばこ

すべてを灰にしてしまう火災——この原因の七八割はちよつとした不注意からなのです。

いふならば、日々の生活の中に「出火原因」は無数にころがっているといえます。

お風呂の消し忘れ、こたつやアイロン、ドライヤーなど電気器具のつけっぱなし、たばこの火の不始末、石油ストーブを点

火したままの給油、ベンジン、スプレーなどの火気への接近など、数えあげたらきりがありません。

特に、いたずら盛りの幼い子供のいる家庭では「火遊び」にも注意しましょう。

幼い子供にとっては、マッチやライターのパツとした炎はひとつの「魅力」としてうつるようです。

お母さんが家事に追われてい

る時など、こたつの上にマッチやライターが置いてあると、子供はつい「日ごろの夢」をかなえたくなって、いたずらする場合がありますから気をつけましょう。

マッチやライターなど、火の元になるものは、ふだんから子供の手の届くところには置かないようにしましょう。

特に二月、三月は、空気が非常に乾燥して強い風が吹くことも多く、そのうえ暖房器具を使う時期でもあり、まさに三

柏子そろった「火災シーズン」といえるでしょう。

二月二九日から二週間「春の全国火災予防運動」が行われます。

火の元には、くれぐれも注意しましょう。

交通安全一ロメモ

クルマ文化の新しい美意識

スーパースポーツや2シーターのスポーティな車に乗っている若者が、きちつとシートベルトを身につけているのは一瞬ハツとするほどイキであり、ひよつとしたらこれは新しいファッションのひとつではないかと思うほどです。

中にはレーサーが使うようなフルハーネスのベルトをつけているクルマもあって、安全というものがクルマ文化の中でひとつの美意識としてとらえられ始めているのではないかという予兆を感じさせます。

いずれにしても、ドライバーは同乗者に対して「シートベルトをどうぞ」といってからスタートするというのが、これからのマナーであり、責任となることは必至でしょう。大切な人、愛する人にはなおさらです。



肱川町で「農林研修日」

県内外から二五〇人が参加

一月二五日に肱川町公民館で農林研修日が開かれ、県内外から約二五〇人のシイタケ生産者が参加しました。

これは原木不足や燃料高騰を克服するために県林業試験場と県農林技術センターが催したもので、「これからのシイタケ栽培」をテーマにして研修しました。

参加者は、五三年度から県林業試験場の実証試験地になっている小藪の沖野常一さんと松本金次郎さんのほだ場などを午前中に見学しました。

午後は県林業試験場の宇都宮主任研修員が、原木のクヌギ不足をカバーするために取り組ん

でいるシイ・カシのほだ木テストの結果を発表し、参加者の関心をひきました。

テスト結果は「カシとシイは寒中に伐採したもののがほだ木に最適で、菌は生木に植えるのがよい。クヌギよりも直射日光に弱く、乾燥させると成積が落ちる。シイは二〇年生以下の若木でもほだ木に使えるが、カシは二〇年以上でないとはだ木にならない」などが報告されました。このほか、消エネルギー対策、

生産性の向上などについても熱心に討議されました。



大藪馬に完成した試験場

河野常一氏のほだ場



広がる覚せい剤汚染

大洲署管内でも三倍増加

最近、覚せい剤の乱用者が年々増加し、特に青少年や主婦、勤労者等県民の間にも広がっています。

昨年、覚せい剤事犯で検挙された者は、愛媛県で三七二人、大洲署管内で一六人と今年に入ってからさらに増加の傾向にあります。

覚せい剤（通称 ヒロポン）を使用すると、一時的に眠気や疲労感が取れたように感じますが、これは興奮状態にあるだけで、実際には、必要な休息が妨げられ、薬がきれると、かえって激しい疲労におそわれ、これ

から逃れようとして、反復使用するという悪循環をくり返し、その結果慢性中毒となり

○食欲が減退し、病的にやせてくる

○意欲、記憶力減退などのため、まともな勉強や、仕事ができなくなる

○幻覚や、妄想におそわれるなどの症状がでています。

また、幻覚や、妄想のため、殺人や放火、傷害、交通事故などを起こしたり、覚せい剤を買うために金や、家財を持ち出したり、盗みをしたりする者も出

てきます。

覚せい剤の使用をやめれば、普通一週間以内に精神症状は消失しますが、不安状態や被害妄想、幻聴が続く場合もあり、なかには一〇年以上も続いた例があります。

覚せい剤は、法律によって厳しく取り締まられておりますが、不正な覚せい剤は主として暴力団組織によって密売人の手に渡り、「疲れがとれる」とか「栄

一口医学

脳卒中で倒れたら

ひとくちに脳卒中といっても

(1)、五〇才以上の人に多く、突然発作をおこすことの多い脳出血。

(2)、六〇・七〇才以上の人に多く頭痛、めまい、手足のしびれなど前ぶれが続いたあと発作をおこすことの多い脳血栓。

(3)、中高年者だけでなく若い人にもおこる脳塞栓（そくせん）、の三つに大別されます。

よく、顔色が赤ければ脳出血、青いのは脳血栓や脳塞栓などといいますが、必ずしもそうとは限りません。症状もさまざまですから、家族が脳卒中で倒れたら、一刻も早く医師に連絡して住診してもらいましょう。

それまでに家族がする応急処置の心得は、急に半身不随をおこしたが、意識がはつきりしているようなら家族があわてないことが大切です。心身ともに安静のとれる部屋に寝かせ、部屋は静かに暖かくし「すぐお医者さんがくるから大丈夫」と力づけます。

養剤だ」、「色が白くなる」などといって、うまく売り込んでいます。

このような甘い誘惑にのって覚せい剤に手を出さないように注意しましょう。

なお保健所では、覚せい剤等薬物中毒（乱用）者相談日を設置、覚せい剤など乱用薬物についての質問や、中毒、乱用に関する相談に応じておりますから遠慮なくご相談ください。

倒れて意識がないときは、名前を呼んでみます。

目をさまし、受け答えがあるようなら意識障害は軽く、このとき体をゆすったり、大声で呼んだりしてはいけません。

呼びかけて反応のないときは、両方の手や足をうつめてみます。

顔をしかめないし、手足も動かないほうがまひ側でしょう。

まひしていない手足のほうを下にして横向きに寝かせると、吐いたものが気管に入るのを防げます。

全然反応がないときは、こん睡が深いと考えられます。

できれば、このような意識状態を観察して医師に報告すれば、診断の助けになります。

意識がない場合は、医師がくるまで動かさないほうが安全ですが、トイレや浴室などで倒れたときは処置のしやすい静かな場所に移します。

このとき頭を動かさないように注意し、戸板などを使って二人以上で運びましょう。

入歯をはずし、衣服をゆるめ楽に呼吸ができるようにします。

かけぶとんは軽い毛布くらいにし、頭は冷やす必要はありません。

今年の六月三〇日まで！

国民年金の特例納付

六五才になって老令年金を受けるためには、保険料を納めた期間が二五年以上あることが必要です。

また、保険料の免除を受けたことのある人は、免除期間と納めた期間の合計が二五年以上あればよいことになっています。ところで、保険料を納め忘れていて二年たつと時効になり、それ以後はその分の保険料は納められなくなります。

このような未納期間が多くなると将来、納付期間の合計が二五年に満たず、老令年金を受けられなくなる場合があります。そこで、このような人をなくすため、時効で納められなくなっている過去の期間の保険料を、特例を認めて納付できるようにしたのが、「特例納付制度」です。この特例納付制度を利用してするのは、現在国民年金に加入し

ているか、これまでに加入したことのある人で、過去に当然加入の期間を有し、その期間について保険料を納めていない場合に限られます。

また、国民年金に当然加入しなければならぬのに加入の手続きをとっていない人、特例納付をすることができません。特例納付として納める保険料は、未納期間一カ月につき四千百円です。

特例納付の取扱い期間は今年の六月三〇日までです。保険料を納め忘れたり加入し忘れていた方は、この機会に、ぜひ納付して受給資格を満たして下さい。

自分に特例納付できる期間があるかどうかかわからない人は、これまでの職歴などを確かめて、役場または社会保険事務所へ相談して下さい。

人の動き

人口	4,078人 (+1)
男	2,023人 (+2)
女	2,055人 (-1)
世帯数	1,105世帯 (-1)
1月中の異動	(出生2、死亡4) (転入21、転出18)
	(昭和55. 1. 31現在)

入学の通知は

届きましたか

就学の義務については、日本国憲法、教育基本法、学校教育法など多くの法律で定められております。その就学義務を負うのは、就



学する子女自身でなく保護者でありますから、保護者に入学の通知をいたしました。もし通知がといていない時は、教育委員会まで申し出て下さい。今年の小学校入学児童は、昭和四八年四月二日から昭和四九年四月一日までに生れた者で、中学校の入学生徒は、昭和四二年四月二日から昭和四三年四月一日までに生れた者です。

留守のため

配達できない郵便物

郵便物の配達の際、お留守の場合には、普通郵便物は郵便受箱などに配達できますが、書留郵便物や小包などは、郵便局へ持ち帰ることになります。

この場合には、不在のため配達できなかった旨を記したはがき型のメモ（不在配達通知書）を郵便受箱などに入れて下さい。この持ち戻った郵便物は、配

達に行つた日の翌日から一〇日間郵便局に保管しますが、その間にお申出のないときは差出人に送り返すことになります。

保管郵便物は、次の方法によりお受け取りください。

○郵便局窓口で受け取る場合
不在配達通知書のほか健康保険証など正当受取人（代人も含めます）であることを証明できるものと書留の場合には印鑑をお持ちになって、郵便局窓口までおいでください。

○再配達を希望される場合
不在配達通知書の所定の欄に配達希望月日（時刻を指定することはできません）を記入してポストに入れていただくか、お急ぎの場合は電話で郵便局まで御連絡ください。

今月の税金

固定資産税	(4)
国民健康保険税	(10)

○行政相談

とき	三月五日
九時～一六時	
ところ	肱川町公民館
担当	行政相談委員 福田 保

◆心配ごと相談◆ “お気軽に相談所へ”

◎相談時間
各相談日とも 9時～16時

◎相談場所
町公民館心配ごと相談室
(肱川町社会福祉協議会)

相談日	担当相談員
2月25日	戒野、森本
3月5日	坂本、兵頭、福田
3月15日	下石、楠野
3月25日	中野、堀尾

相談員の自宅相談も受け付けます

○婦人の貧血検査
とき 三月五日
午後一時～二時半
ところ 肱川町公民館

○乳児健康相談
とき 三月一日
午後一時～三時
ところ 肱川町公民館

お誕生おめでとう
ございます。

中野	鳥越 寛さん
二女	久美子ちゃん
中野	沖 仁さん
長男	俊ちゃん

ごめいふくを
お祈りいたします。

協生	石山 悟さん (4才)
道野尾	上甲熊雄さん (72才)
下敷水	中田クニヨさん (87才)
萩野尾	河内マツヨさん (86才)